

第22回 国労東日本マラソン大会

個人は鈴木選手(東京)がV3、駅伝は長野AチームがV5達成! 開催!



海口競技審判長

国労東日本本部は、11月11日に第22回マラソン大会を皇居外周で開催し、最年少は14歳から最年長78歳までの幅広い年齢層のランナーが激走を展開しました。

個人5キロマラソンは、鈴木選手(東京)が3年連続の優勝を果たし、13チームのエントリーで競われた駅伝レースでは、中盤以降の追い上げで力を見せた長野Aチームが見事5連覇を達成しました。

今号は、①第22回マラソン大会、②各地方本部・地区本部業長、職協代表者会議、③東日本運輸協議会第29回定期委員会の報告とします。

個人5km マラソン成績

1位	新橋	鈴木 博文	蒲田駅	19分11秒
2位	千葉	名雪 勝男	習志野運輸区	20分08秒
3位	神奈川	伊藤 康明	横須賀線分会家族	21分24秒
4位	神奈川	小山 眞樹	熱海駅	21分57秒
5位	神奈川	蒲生 傳	古淵駅	22分18秒
6位	大宮	佐藤 幸雄	大宮電力技セ	23分35秒
女性1位	長野	村田まり子	家族	30分03秒



個人優勝 鈴木選手



女性1位 村田選手



駅伝マラソン成績

1位	長野地本Aチーム	1時間19分40秒
(松本俊文・徳武雄一・平林芳一・平塚慎也・小林将巳・柳原昭治)		
2位	盛岡地本チーム	1時間20分51秒
(佐藤賢哉・吉田雅美・黒井恒夫・佐々木義仁・佐藤隆文・千葉健史)		
3位	国労高崎チーム	1時間21分12秒
(齋藤弦太・小野寺一雄・小林香水・久保田秀夫・檜野皮謙・柳川将輝)		

駅伝・区間賞

1区(5km)	国労高崎チーム	齋藤 弦太	15分45秒
2区(2.5km)	千葉地本チーム	吉野 圭祐	7分59秒
3区(2.5km)	長野地本Aチーム	平林 芳一	10分34秒
4区(2.5km)	長野地本Aチーム	平塚 慎也	9分30秒
5区(2.5km)	国労高崎チーム	檜野皮 謙	10分16秒
6区(5km)	国労高崎チーム	柳川 将輝	18分52秒

※5区は高崎と長野Aが同タイムのため、年齢の高い順で決定。



駅伝優勝 長野Aチームと長野のみなさん

今大会も、東京走友会・NRUハムクラブ・東京地本のご協力が無事終了しました。紙面を借りてお礼を申し上げます。
※詳細な記録については、ホームページにて掲載しています。

国
労
東
日
本

(組合員の購読料は組合費に含まれます)

港区新橋5-15-5
交通ビル
国労東日本本部
発行責任者 大沼 元
編集責任者 樋口孝重

No. 799 定価 20円

2017年

11月30日

仲間の信頼
力に変えて
さあ踏み出そう
組織の拡大へ



QRコードからでも閲覧できます

<http://www.e-nru.com/>

各地方本部・地区本部
業長・10月31日
職協代表者
会議開催!



国労東日本本部は、10月31日に各地方本部・地区本部業務部長・職協議長会議を東京地本会議室において開催しました。矢部副委員長の開会挨拶で始まり、大沼委員長から「改憲阻止に向けた政治情勢、期末手当でのグループ企業を含めた取り組みが進んでいる。エール制度改善は国労交渉は進んでいるが、他労

組の動向もあり、様々な課題に向けて地方と一体となって進めていきたい」と挨拶をしました。

伊藤書記長から、(1) 2017年度年末手当獲得に向けて、エリア業務部長会議にて確認された

国労統一要求、基準内賃金×3.5カ月で申し入れたことや、JR貨物の手当交渉の状況、グループ会社の手当他の取り組み状況についての報告。

(2) 通年闘争としてきた「労働条件に関する協約」改訂に向けた交渉を青年女性の付帯要求を含めて進めていくこと。大幅にスケジュールが遅れている「エール社員の業務範囲拡大と労働条件の一部変更」では、現在までの前進面と課題を報告し、今後の対応について提起。また「電気部門における技術継承と安全問題、職場環境」交渉や、

アスベスト問題の要求作成と取り組み、大規模輸送障害事故に対する取り組みを提起し、保線関係の効率化施策状況についても報告しました。

地方からは、各地における取り組み状況が報告された他、「アスベスト問題で長野の組合員が発病。労災認定がされていないので医療費をカンパで賄う。会社側に原因と対策を求めていく」「大宮でも組合員にアスベスト被害が発覚。労災認定を求めていく」「宇都宮線東鷲宮電気設備故障による大規模輸送障害で支社に対して『申』を提出。事故原因と対策を求めていく」「保線関係の効率化施策について情報収集と対策を求める」などの意見が出されました。

また武田組織部長からは、新規採用者の獲得に向けて取り組んできた経緯や各地方での取り組みについて報告し、困難はあってもこの間の取り組みで変化が出ていることを報告し、取り組みの継続を提起しました。

会議は、当面する闘いに向けて、各地方本部・職協と情報を共有し、運動強化に向け奮闘する意思統一をして閉会しました。

国労東日本本部運輸協議会は、10月20日に大宮地区本部会議室において、第29回定期委員会を開催しました。

運輸協議会
第29回
定期委員会
10月20日 を開催!

り組みの強化をお願いする」と挨拶がされました。来賓の神奈川労災職業病センター・池田氏より「アスベスト問題で神奈川や長野など各地で労災申請の取り組みが行われているが、JRは事業者責任を認めていない。安心して働ける状況に向け国労の皆さんと一緒に頑張っていきたい」と温かい挨拶がありました。

工作協・小野議長からは「検修外注化や、アスベストなどの有害物質から労働者の健康を守る闘いを運輸の皆さんと取り組んでいきたい」と連帯の挨拶を受けました。

東日本本部からは渡辺執行委員が来席し「組織拡大は最重要課題。取り組み強化をお願いする。労働条件・安全問題・外注化・技術継承などの問題は要員不足が大きな原因の一つ。JR会社に要員不足解消に向けた取り組みを強化していく。エール制度の見直し交渉が行われたが、本体業務に残る規模や職種について、まだ明らかにできない状況。当事者の不安解消に向け、地方交渉で具体的な話がされるようにエリア本部としても本社に申し入れていきたい」と挨拶を受けました。

長谷川議長より経過報告・活動方針(案)、保科事務長より決算報告、予算(案)の提起がされ、質疑応答に入りました。各委員より、乗務員勤務の改善の必要性や、グループ会社での劣悪な労働実態の報告。検修外注化後の問題点や、グループ会社との直接交渉のできる環境整備作り。組織拡大に向けて、他労組組合員やプロパー社員との

交流の報告等、各地方の1年間の活動報告も含めた発言がされました。そして長谷川議長の「運輸協議会として、各委員より出された意見を今後1年間の活動に生かしていく」とまとめを受け、満場一致で活動方針、予算を確立。最後に長谷川議長の力強い団結ガンバローを全員で唱和し、第29回運輸協議会定期委員会を終了しました。

新役員は、長谷川議長、保科事務長、緑川会計監査が再任されました。(副議長は各地方議長です)

(運輸協議会発)



最新のがん保険、**新登場。**

アフラック

通院・入院・抗がん剤・診断一時金
 \NEW/
新生きるための**がん保険** Days

女性特有のがんにも手厚い
 \NEW/
新生きるための**がん保険** Days

はじめてダック

■募集代理店(アフラックは代理店制度を採用しております)
アベニール株式会社
 TEL 03-3437-6810 FAX 03-3437-6822
 〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F

©商品の詳細は「契約概要」等をご覧ください。
 (引受保険会社)
アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)
 東京第二法人営業部
 〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル17F
 Tel.03-3344-1429 Fax.03-3344-4036
 AF広告課-2014-0044-1412506 8月25日